

“摂食・嚥下障害看護認定看護師”の活動を紹介します

摂食・嚥下障害をもつ患者の嚥下機能の改善・機能保持に対する介入を行うことで患者さんのQOLの向上を目指して活動をしています！！

嚥下回診

月に2回、嚥下チームで回診を行っています。
介入内容は、主に食事開始時の嚥下機能評価や食事形態の検討、
摂取方法や嚥下リハビリの指導です。

回診前カンファレンスの風景です。

コンサルテーションの患者さんの疾患や既往歴、現在の身体状況（栄養状態、熱は出ていないか、肺炎の徴候はないか、など）のデータをカルテから情報収集し、情報を共有します。
そして患者さんのもとへ・・・♪



この写真は嚥下ラウンドの風景です。
食事開始前にPTさんが姿勢を整え、
歯科衛生士さんが口腔ケアを実施しているところです。病棟スタッフも同席して環境整備から摂取方法まで知識・技術を共有できるように努めています。

★チームでの活動により摂食・嚥下障害看護の視野を広げ、少しでも患者さんの「**口から食べる**」ことへの可能性を引き出していく環境づくりに頑張っています！